

## 議事録

1. 件名：「令和 5 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性を検討するための試験体の載荷試験」及び「令和 5 年度 制振装置の試験」事業に導入予定の図書授受システムに係る打ち合わせ
2. 日時： 令和 5 年 8 月 10 日(木) 13:30～14:30
3. 場所： 原子力規制庁 会議室(web 会議)
4. 出席者： 原子力規制庁  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門  
日比野総括技術研究調査官、田岡主任技術研究調査官  
  
東芝エネルギーシステムズ株式会社  
パワーシステム事業部 原子力技術部 シニアエキスパート  
パワーシステム調達部 担当
5. 要旨：  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、地震に対するフラジリティ評価手法の高度化の検討の一環として、過去に大きな地震を経験した既設プラントの設備及び既設プラントに新たに導入された設備の耐震性に係る知見を拡充するための安全研究を、令和 3 年度から令和 6 年度にかけて計画し、実施している。  
当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和 5 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性を検討するための試験体の載荷試験」及び「令和 5 年度 制振装置の試験」事業を実施している。  
今回は、これらの事業の提出図書の電子化に伴い導入予定の図書授受システムについて、打ち合わせを実施した。内容は下記のとおり。
  - ① 図書授受システムの内容とその操作方法について、東芝エネルギーシステムズ株式会社から説明があった。
  - ② 今後の導入スケジュールについて、確認した。
6. その他  
特になし